

Injury Alert (傷害速報)類似事例

蛇口による口腔底挫傷 (No.30 蛇口による乳臼歯脱臼の類似事例 2)

事例	年齢：1歳8か月 性別：男児 体重：11.8kg 身長：84cm
傷害の種類	口腔内外傷
原因対象物	水道の蛇口（口径 1.6cm）
臨床診断名	口腔底粘膜挫傷・血腫
医療費	7,880円
発生状況	発生場所 市立公園の敷地内に設置してある水飲み場 原因となったのは、水飲み場の側面に下向きに設置されている水道蛇口で、足元の排水板から蛇口下端までの高さは56cmであった（図1）
	周囲の人・状況 母と兄（6歳）は付近で遊んでいた
	発生年月・時刻 2020年3月X日（水） 午後4時30分
	発生時の詳しい様子 と経緯 発生直前、本児は公園内の水飲み場にしゃがみ込み、水道蛇口を下から見上げるように啣えていた。普段から本児がこのように蛇口に直接口をつけて水を飲むことがあったため、この時母は本児が水を飲もうとしているのだろうと思ったが、兄の遊び相手をしていたため本児に付き添ってはいなかった。 本児の泣き声が聞こえたため母が見ると、本児が蛇口を啣えたまま啼泣していた。本児の口を蛇口から離れたところ、口腔底から出血していた。同日は止血が得られていたため、鎮痛剤を服用させ自宅で様子を見たが、夕食は摂取不可能であった。翌日になり、口腔底の腫脹が増悪した。近医歯科を受診したが対応困難と判断されたため、同日医療機関を受診した。
療経過と予後	医療機関受診時（X+1日）、バイタルサインに異常はなかった。口腔底に粘膜挫傷と血腫を認めたが、創部は止血されており、他に歯牙損傷や上気道狭窄を示唆する症状はなかった。咬傷に準じてCVA/AMPCの内服を開始した。同日から経口摂取は可能になった。X+2日の指示再診時に、同部位の腫脹は改善傾向であることを確認した。X+5日の指示再診時に腫脹の消退が確認され、終診となった。



図1. 原因となった水飲み場を、異なる2方向から撮影した写真
受傷原因となったのは、右写真の下向き蛇口
排水板から蛇口下端までの高さ（矢印部）は56cmであった